

りったいきずりつちかべ
浅沼組が開発した「立体木摺土壁」が

JID AWARD 2025 の NEXTAGE 部門において金賞を受賞

株式会社浅沼組(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:浅沼誠)は、“土”に着目し開発した構法「立体木摺土壁」(特許取得済)が、JID AWARD2025(公益社団法人日本インテリアデザイナー協会主催)のNEXTAGE部門において、最高賞となる金賞を受賞いたしました。同構法が実装された「芋松 豊洲千客万来店」は、2025年度グッドデザイン賞も受賞していることから、今回の受賞は2つ目の称号獲得となりました。



● 「立体木摺土壁」について

浅沼組では、「人間にも地球にもよい循環を建設できなければ、建設業の未来はない」と考え、循環型のマテリアルや技術の開発に力を入れています。その一環として誕生したのが「立体木摺土壁」です。2021年に循環型建築のフラッグシップとして浅沼組名古屋支店をリニューアルしましたが、そこに「芋松 豊洲千客万来店」の設計者である木野内剛氏(株式会社日本設計所属)に訪問いただいたことをきっかけとして、「立体木摺土壁」の開発に至りました。

「立体木摺土壁」は建設発生土や藁スサ、おがくずといった自然由來の素材を用いながら、土と木を積層した壁です。古来より世界中で用いられてきた、日干し煉瓦を応用して、内装材として浅沼組で独自開発しました。土壁を自立可能な構造として安定化・軽量化し、短時間での施工を可能にしました。自然素材のみの使用により、低炭素性(建設時CO₂排出量抑制)、炭素貯留性(土と木に炭素を貯留)、資源循環性(土と木の分離による再生利用)、吸放湿性(空気環境改善)に優れています。今後、本構法がより幅広く活用されることを目指し、耐火大臣認定取得も視野に、研究開発を進めてまいります。(特許第7723873号)



● JID AWARD について (引用:<https://jid-award.com/html/detail-2025.html>)

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会(JID)が発足した1958年、日本のインテリアデザインに関わる優れた作品・業績を称えることを目的とした「協会賞」が設置されました。1994年には「JID賞」と改称され、選考方法も公募方式となり、現在の「JID AWARD」に至ります。今では、スペース部門、プロダクト部門、提案や試作を対象にしたネクストエイジ部門の3部門があり、ウェブによる審査を通過したスペース部門は現地審査、プロダクト部門は現物審査を経て最終審査に至る、リアリティを持ったデザイン賞となっています。



- 「芋松 豊洲千客万来店」について

豊洲市場の青果仲卸「芋松」が、新領域への事業展開を試行・模索するための飲食・物販店舗を「豊洲 千客万来(2024年2月開業)」にオープンさせました。日本建築に慣れ親しんだ「土」を主材として扱うことを木野内剛氏(株式会社日本設計所属)が考案され、販売する野菜の「畑の土」を借用し、伝統的な木摺や型枠形成技法を応用した「立体木摺土壁」を新たに浅沼組が開発し、地域の風土を表す「土」の質感表現に加え、新鮮な日取り野菜を通して地域の食文化に触れるこことのできる空間を創出しました。



- JID AWARD2025 概要 (引用:<https://jid-award.com/html/detail-2025.html>)

- 選定作品数

- ◆ 大賞…1点：全応募作品中、特に優れた作品
- ◆ 金賞…数点：下記3部門それぞれにおいて、特に優れた作品
- ◆ 銀賞…数点：下記3部門それぞれにおいて、優れた作品
- ◆ 銅賞…数点：下記3部門それぞれにおいて、銀賞に次いで優れた作品
 - ✓ スペース部門(仮設空間を含む、インテリアスペースの実施作品)
 - ✓ プロダクト部門(家具、照明等のインテリアプロダクトの製品化作品)
 - ✓ ネクストエイジ部門(スペースまたはプロダクトの提案・試作作品、学生作品)

- NEXTAGE 部門の応募対象

日本国内での提案・施策作品が対象。デザイン思案例など、ここ数年間の成果であれば応募可能で、同部門の第一次審査通過作品は、説明用パネル(模型、試作品、動画等を添えることも可)を提示できることが条件

- JID AWARD2025 における作品概要

- 応募番号:25669094
- 作品名:立体木摺土壁
- 受賞者名:福原 ほの花(株式会社浅沼組 技術研究所)、山崎 順二(株式会社浅沼組 技術研究所)
木野内 剛(株式会社日本設計)、境 洋一郎(株式会社 KS AG)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社浅沼組

戦略企画本部 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:06-6585-5508

Eメール:asanuma_ir@asanuma.co.jp